

平成19年度 第6回規制改革会議 議事録

1. 日時:平成19年5月30日(水)15:30~15:51

2. 場所:永田町合同庁舎1階第1共用会議室

3. 出席者

(委員) 草刈隆郎議長、八田達夫議長代理、有富慶二、安念潤司、翁百合、小田原榮、川上康男、木場弘子、中条潮、福井秀夫、本田桂子、松井道夫、松本洋、米田雅子 各委員

(政府) 岡下大臣政務官

(事務局) 河内閣審議官、田中規制改革推進室長、井上参事官、福山参事官、岩佐企画官、岩村企画官、初谷企画官、萬谷企画官

4. 議事次第

第1次答申について

5. 議事録

(報道関係者入室)

草刈議長 それでは、定刻になりましたので、第6回「規制改革会議」を開催します。

本日は、業務御多忙の中、岡下政務官に御出席をいただいております。どうもありがとうございます。また、14人の委員に出席していただきまして、欠席は白石先生だけということです。

早速でございますけれども、本日の議題であります第1次答申の審議に入りたいと思います。お手元にお配りしてあります1次答申案の案文、非常に分厚いものですが、これをごらんいただければと思います。これは、前回の会議以降、各担当委員を中心に関係府省との協議・調整を経てとりまとめられたものでございます。委員の皆様には、事前に御確認をいただいているものでございます。

したがいまして、本日は、御異存がなければ本案を正式な答申として会議として決定したいと思いますけれども、よろしゅうございましょうか。

(「異議なし」と声あり)

草刈議長 ありがとうございます。それでは、本案のとおり、答申を決定させていただきます。

それでは、ここで岡下政務官からお言葉をちょうだいできればと思います。よろしく願いいたします。

岡下政務官 皆さん、今日はありがとうございます。

草刈議長様を始め委員の皆様には、わずか4か月の間に非常に精力的に御審議をいただきまして、今日この第1次答申をまとめていただきましたことを本当に感謝を申し上げます。

実は、今日は渡辺大臣、林副大臣も皆様の労をねぎらい感謝の言葉を述べたいと申しておりましたのですが、ちょうど今、党首討論がございまして、お二方ともそちらに出ております。私も、今、まさに行革の公務員制度改革、それも今日と明日、最終段階に入ってまいりまして、委員会がまた3時50分から続けられまして、大臣、副大臣は、大変に皆様方に御苦労いただいたのにごあいさつできなくて申し訳ないということをまず申し上げておきます。

そして、これは「規制の集中改革プログラム」の第1弾としてとりまとめていただいた今回のこの答申を、政府にとってもしっかりと受け止めまして、そして確実な実現に向けて取り組んでいきたいと存じております。

任期は、あと2年半でございますけれども、皆様方の次なるターゲットといたしましては、年末の答申に向かってまた皆様方に御尽力をいただかなければいけない。そして、議論を深めていただきたいと思っておりますが、引き続き皆様方の熱心な御議論あるいは御審議をいただきまして、次なるターゲットの第2弾を仕上げていただきますように心からお願い申し上げまして、大臣、副大臣に代わりましてのごあいさつにさせていただきます。

今日は本当にありがとうございました。

草刈議長 政務官、どうもありがとうございました。岡下政務官におかれましては、本日の答申のとりまとめまで格段の御理解と御支援を賜りましたことを、会議を代表して厚く御礼を申し上げたいと思います。

また、本日は、さっきおっしゃられた事情で、公務多忙ということでお越しいただけませんでした。渡辺大臣並びに林副大臣にも、大変な御支援をいただきました。この場を借りて厚く御礼を申し上げますとともに、よろしくお伝えのほどをお願い申し上げます。

岡下政務官 そのように申し伝えます。

草刈議長 当会議としましては、今おっしゃったように、引き続き残された課題について鋭意取り組んでまいりますけれども、是非、政府におかれましては、本答申の内容が確実に実現をされますようによく御配慮のほどをお願いしたいと思います。

また、答申のとりまとめに当たりましては、最初のチームということで大変御苦労も多かったと思いますが、各委員の皆様のご格段の御努力に改めて敬意と謝意を申し上げます。

(報道関係者退室)

岡下政務官 議長、済みません、私もこれで退室いたします。

また顔を出しますので、今後ともよろしくお願いいいたします。今日はありがとうございました。

(岡下政務官退室)

草刈議長 それでは、議事を続けます。お手元に「規制改革の推進のための第1次答申概要(案)」という資料がございますが、これは答申の内容を簡潔にまとめたものですので、対外的な説明の際などに御活用いただければと思います。

それでは、今回の答申に当たりまして、何か御発言等ございましたらば、若干、時間もございませんので、御自由に御発言をいただければと思います。

どうぞ、どなたでも結構でございます。皆さん、前回の3年間の会議と少し様相も違ってきているということ、あるいは新しく委員になられた方々がたくさんおられますので、いろいろと感想もお持ちだろうと思います。それにつきましては、別途、もう少しやわらかい形で、慰労会を兼ねてそういうミーティングはやりたいと思っておりますけれども、今日の時点で何かおっしゃっておきたいということがあれば、どうぞ御遠慮なくお願いしたいと思います。

どうぞ、お願いします。

中条委員 委員の皆さんに、航空に関してはいろいろと御協力をいただきまして、議長にも大臣にも大変御協力いただきまして、ありがとうございました。

一言申し添えておきたいのは、規制改革会議の答申としてはアジア・ゲートウェイの言葉を並べるという形になっておりますけれども、アジア・ゲートウェイのこの成果が得られたのは規制改革会議の存在であり、規制改革会議が最初から弾出しをして、そして支援をしてきた。その成果であります。日本がオープンスカイをやっと始めたというのは実は世界的に大きなニュースであるはずなんです。これは規制改革会議の活動の、皆さんの御支援のたまものであるということ、表面には出ておりませんが、是非、御理解をいただきたいということをお願いしたいと思います。

草刈議長 どうも、中条先生ありがとうございました。この件については、ちょうど連休のころから急ピッチでということになりまして、皆さん本当に御協力いただきましてありがとうございました。

ほかに、何かお話がございましたら、どうぞ。

松井委員、何かありませんか。まだ十分時間がありますから、どうぞ。

松井委員 医療分野について、今日の『日本経済新聞』に“完全オンライン化の確実な実施”というふうに書いてありますけれども、実はあれが一番重要なポイントではなくて、一番はむしろ、概要の2番目に書いてある、いわゆる支払基金の抜本的な見直しにあります。これはレセプトをオンライン化することによって、審査・支払業務のフローが抜本的に変わり、これが結果的に国民負担を軽減させることにつながるという趣旨で、ここの部分についてメスを入れようというのが一番のポイントです。

これから支払基金に合理化計画を立てさせて、それをチェックするという作業が必要なんですけれども、決して易しい話ではないと思います。いずれにしろ、今回、3か月間ぐらいいろいろやりましたけれども、議長からも伺っていましたが、固い岩盤というのが一体どういうものかというのをちょっとだけ垣間見たような気がします。これから、そこに挑戦しないといけない。気が重いんですけれども、これからは頑張っていきたいと思っております。

草刈議長 どうもありがとうございました。

ちょっと順番が逆になりましたけれども、八田議長代理からコメントをしていただければと思いますので、よろしくお願いします。

八田議長代理 今回は全体的に見て2つの大きなテーマがあったと思います。1つはイノベーション、もう一つは再チャレンジです。後者は今まで強調していなかった新しいテーマです。再チャレンジは、農業のことも、保育のことも関係しています。イノベーションも、考えてみたら医療も関係しているし、農業も関係している。「縦ぐし、横ぐし」という言葉があるけれども、イノベーションというものも実に多くのところに関係しているんだと思いました。

私が担当したところでは、国家公務員の年齢引上げというのは結構難しいものだということを最後まで認識させられまして、とはいえ、これはタイミングの問題で、いつかは必ずうまくいくんだろうと思うので、それが破れば随分役に立つのではないかというふうに思っております。

以上です。

草刈議長 ありがとうございます。

まだ5分か10分、時間がございますけれども、どなたかございますか。

どうぞ。

川上委員 今、この概要(案)を見させてもらったんですが、国と地方でやりました、この規制改革の1次答申の冊子の冒頭の部分に入っているところが抜けているのではないかと思うんですが、2ページの工場立地の問題、それから、ボランティア有償運送ということが、こちらの概要(案)の方には入っていないんですが、これは何か意図があるんでしょうか。

田中室長 済みません、大変失礼いたしました。どうもミスのようにございますので、早急に直すようにいたします。

草刈議長 これは私も、例のタクシーの代わりにボランティアでNPOがやるというものでしょう。あれが入っていないのでどうしたんだろうと思ったんです。それで時間がなくなってしまったんですけれども、追加をして訂正版を出していただいた方がいいと思います。

田中室長 ぎりぎりまでいろいろなことがありましたので、どうも急場仕事でつくったようで、どうぞ、先生方の御意見を事務局の方にお寄せいただいて、よりよいものにして広報資料にしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

川上委員 お願いします。

草刈議長 別に同情するわけでもないんですけれども、先週末から昨日、今日と相当ごちゃごちゃにいろんなマターがあれしまして、いろんな各省とのネゴもぐじゃぐじゃあったりしまして、少し抜けているものがこの中にあるかもしれません。御担当のものでおかしいではないかというものがあったら、できるだけ早く修正しますからね。

川上委員 皆さん、自分の担当のところを見られた方がいいのではないかと思いますね。

草刈議長 済みません、川上さんには大変申し訳ないことをしましたが、できるだけ早く修正版を出します。

それでは、よろしいですか。

相撲で言えば、ずっと休場されておられた松本先生、何か御発言はありますか。

松本委員 申し訳なかったんですけれども、ずっとヨーロッパに行っていたものですから、メールではやりとりしていたんですけれども、今後、積極的に参加します。

ヨーロッパへ行ってみて感じたのは、EUが一体化しているというんですか、本当に国境がなくなって、例えば私の会社などでも、会議をやっている14か国の人間が一堂に会して、本当に壁なく、どうやってグローバル競争に勝っていくかということを考えるということで、やはりEUというのは相当強くなってきている。イタリア人、フランス人、ドイツ人の知恵を合わせながら、どうやってグローバル競争に勝っていくかということを考えているので、こういう動きを見ると、やはり日本はまだ島国根性があって、なかなか壁を破れない。

そういう意味では、せっかくインドとか中国という巨大な市場と、それから、優秀な人材がどんどん育っているアジアの先進国という日本の強い立場があるわけですから、それを利用して、EUがああいうふうに一体化したように、アジアで一体化して日本がやっていく場面は相当ある。そう

いう意味では、この規制改革会議の項目については当たり前で、もっともっと進んだことをやっていかないと、やはり世界競争でかなり遅れることになるというのを非常に痛感しました。

以上です。

草刈議長 ありがとうございます。後半はまた松本先生にいろいろ御参加いただけるといいますので、大いに期待しておりますので、今の話も含めてよろしくをお願いします。

よろしいですか。

それでは、そろそろ本日の会議を終了したいと思います。

本日は、答申をとりまとめることができましたので「政府内部における検討過程の情報」ということで、非公表にしておりました5月11日の第5回の議事録も公表いたしますので、御承知おきをいただきたいと思います。

この後、例によって2階の第2共用会議室におきまして、本日の会議の様態について記者会見を行う予定にしております。

なお、本年、これから後半ということでございまして、前半での成果を踏まえて、更に、今までになかったような核心部分に各テーマで迫っていくということになることは必定だと思っております。

そこで、次回の会議の日程等については、事務局から後ほど御連絡をいたしますけれども、ここで一休みして、6月末あるいは7月頭ぐらいに後半戦の第1回目の会合を開催するという段取りにしたいと思います。できるだけスタートを早くして、それから、さっき松井委員がおっしゃったように、もっと深い勉強をしなければいけない点が多々ございますので、それに十分時間を取りたいということもあるので、できるだけスタートは早くしたいと思っておりますので、何とぞ御協力をお願いして、また、お含みおきをお願いしたいと思います。よろしくをお願いします。

最後に、事務局から御連絡が何かありましたらどうぞ。

井上参事官 先ほど、政務官からも、答申の中身を政府として受け止めて、確実に実現というふうに申し上げましたけれども、早速、間近に控えているところで6月の中旬ごろに、これは経済財政諮問会議がとりまとめますけれども、いわゆる「骨太の方針」、基本方針2007というもののの中に主な項目、そんなに詳しい表現では入りませんが、これに入れてもらうということ。

もう一つは、これはこちらが主体の話として、新しい規制改革の3か年計画を、閣議決定を6月下旬に行いたいと思っております、その中に入る新しい主な項目というものが、今回の答申でまさに具体的施策として書いていただいたものでありますけれども、過去の計画に入っていたものでまだ残っているものであるとか、あるいは昨年12月に前会議が最終答申として出していたものの中で具体的施策として書かれているようなものなども織り込んで、前回の場合には最初のスタート段階では700項目ぐらい3か年計画に入っていますが、今回もそれと近いぐらいの数のものを織り込むべく、やっと答申の折衝が終わったところで、これからまたすぐ各省折衝が始まって、6月下旬に3か年計画の閣議決定として確実に政府の計画として織り込んでいきたいと考えてございます。

以上でございます。

草刈議長 ありがとうございます。

それでは、本日の審議はこれで終了したいと思います。事務局の方々も含めて、皆様のお力によって、本日無事、我々にとって初めての答申でございます第1次答申がとりまとめられたということについて、重ねて御礼を申し上げたいと思います。

どうも、本当に御苦勞様でした。ありがとうございました。